	第84回	通勤	11. 13	27	—	—	—
	第85回	通勤	11. 27	45	—	—	—
	第86回	通勤	12. 11	39	—	—	—
	第87回	通勤	1. 22	29	—	—	—
	第88回	通勤	3. 12	57	—	—	—
行政フォーラム（本府省幹部級）	第３回	通勤	4. 21	12	—	—	—
	第４回	通勤	9. 16	20	—	—	—
幹部行政官セミナー（アスペンメソッド）		合宿	9. 2〜 5	12	—	3	—

(注)　※１平成20年度に前倒して実施。

※２地方公共団体からの参加者数であり、いずれも各府省から地方公共団体へ出向中の者である。

ア　国家公務員合同初任研修

各府省の行政職俸給表㈠の２級の官職（これに相当すると認められる官職を含む。）に採用された直後の職員を対象に、国家公務員合同初任研修を総務省と共同で実施している（３日間）。

平成21年度は、公務員の在り方に関する講演等のほか、公務員の服務・倫理についての講義・演習、各府省の人事管理官及び課長補佐などを迎えての班別演習を中心として実施した。

イ　初任行政研修

各府省の行政職俸給表㈠の２級の官職（これに相当すると認められる官職を含む。）に採用された職員のうち、将来、本府省において政策の企画・調整の衝に当たることが見込まれる者を対象に、４コースに分けて初任行政研修を実施している（５週間）。

平成21年度は、新たに研修科目に「接遇」を導入するとともに、介護実地体験、地方自治体実地体験等のほか、研修員８〜９人の班別に、長期的視点に立って政策提言をまとめる「政策課題研究」、歴史的意義の大きい行政事例を題材とした「行政政策史」などからなるカリキュラムにより実施した。また、現職の事務次官が行政官としての心構えについての講話を行うとともに公務員倫理に関する講義・演習等を実施した（表２－２）。

［表２－２］　**平成21年度初任行政研修の内容**

分　類	科　目	時間数	ね　ら　い
体験を通して行政の在り方を考える	介護等実地体験	50	社会福祉施設における介護業務、補助業務等の実地体験を通じて、社会や地域の在り方について考え、国民の立場に立ってものを見ることの重要性を学ぶ。
	地方自治体実地体験	44	地方自治体行政の現場を訪問し、実地体験や自治体職員、地域住民との意見交換等を通じて、地域の多様性、生活実態、住民の意識やニーズ等についての認識を深める。
	国際行政の現場	3.5	国際的な業務の最前線で活躍した経験に基づく生きた話を聞き、国際情勢や我が国の置かれている立場、諸外国との交渉や国際協力の在り方などについて認識を深める。
	日本への期待	3.5	日本に勤務する外国大使館職員の話を聞き、国際社会における我が国の立場、今後期待される我が国の役割等について認識を深める。
公共政策の在り方を多角的に検証し考える	政策課題研究	21.5	府省横断的な政策課題について、調査研究、班での討論を行い、具体的な政策提言をまとめることを通じて、長期的な視点に立ち、府省の枠を超えて、課題認識や政策立案の重要性を認識する。また、問題発見能力、企画立案能力、表現力等行政官として求められる資質の向上を図る。
	政策形成の実際と行政官	2.5	各府省の企画官等による、各府省が取り組んだ行政課題を題材とする講義、質疑を通じて、実際の政策形成に当たって必要となる視点と手続、関係者との調整の在り方、マスコミとの関係等について学ぶ。
	行政政策史	23	社会的、歴史的意味の大きい行政事例を題材として、実際の政策決定に当たって必要となる視点と手続き、総合的判断と関係者との調整の在り方を学ぶ。
	政策ディベート	13	研修員の間での公共政策の在り方に関する討議を通じて、幅広い観点から物事を考えることを学ぶ。また、対立した二つの立場や客観的な審判という立場でそれぞれ考えることにより、相手に受け入れられる効果的な説明をするための論理的思考力を養い、相手の意見を的確に把握することを身に付ける。
国民全体の奉仕者としての使命と職責について考える	行政官として	6	各府省の事務次官から、行政官としての心構え等に関する講義を聞いた上で、期待される国家公務員の在り方について、討議を実施し、文章にまとめることにより、国家公務員としての自覚と使命感を醸成する。
	公務員倫理を考える	2.5	事例研究などを通じて、倫理的な行動の在り方について検討し、実践への動機付けを図る。
	古典に学ぶ	2.5	古典を通じて、リーダーとしての心構え・素養について考える。
	人権	2.5	障害者、犯罪被害者等、人権問題に直面した者から自らの経験に基づく話を聞き、我が国が抱える人権問題の現状を認識するとともに、基本的人権に対する意識を高める。
	メディアから見た行政	2.5	行政に求められる説明責任や透明性、パブリックオピニオン等に関する講義を通じて、国家公務員としていかにメディアと関わっていくべきか、メディアを通じて行政が意思表示するに当たっての重要な視点は何か等について考える。
	公文書の意義とその管理	1.5	行政機関における公文書管理の意義、我が国の現状とその問題点について、講義を通じて理解・意識を深める。